

『北海道交通政策に関する指針（仮称）』骨子（案）

～ヒトとモノの流れが加速する交通ネットワーク～

1 策定の趣旨

- ・本道交通を取り巻く環境変化を踏まえ、地域の活性化と北海道の発展を支える総合的な交通ネットワークの形成に向けた基本方針を示す。
- ・計画期間：平成30(2018)～42(2030)年度(北海道新幹線の札幌開業予定時期)

2 交通ネットワーク形成の方向性

(調整中)

3 施策の展開方向

現状と課題

施策のポイント(交通・物流)

(柱1)国内外をつなぐ

グローバル化に対応した交通・物流ネットワークの充実・強化

- ・インバウンドの増加
- ・北海道新幹線開業と札幌延伸
- ・道内7空港の運営の一括民間委託
- ・食の輸出拡大

- ・地域と世界をつなぐ航空ネットワークの形成
- ・北海道新幹線の整備促進と開業効果の拡大
- ・観光施策と連携した交流人口の拡大
- ・物流ネットワークの充実・強化
- ・物流関連施設の集積促進 など ※P1

(柱2)道内における移動の円滑化と輸送の効率化

事業者等の連携による移動円滑化と輸送効率化

- ・広域分散型の地域構造
- ・鉄道網の持続的維持
- ・一次産品輸送の季節波動・片荷輸送
- ・技術革新の進展

- ・交通機関相互の連携強化による利便性の高い移動の実現
- ・高規格幹線道路など道路交通ネットワークの整備
- ・IoTの活用などによるサプライチェーンの最適化
- ・新技術の活用と研究開発拠点の形成促進 など ※P2

(柱3)地域を支える

地域を支える持続可能なネットワークの構築

- ・人口減少・高齢化の進行と都市部への人口集中
- ・消費者ニーズの多様化

- ・まちづくりと連携した持続的で地域に最適な交通ネットワークの構築
- ・過疎地域等での持続的な物流の確保 など ※P3

(柱4)防災・人材確保

災害に強く、生産性の高い交通・物流の実現

- ・頻発・激甚化する自然災害
- ・積雪寒冷な気象条件
- ・経営環境・労働環境等の変化

- ・防災・減災対策の強化と国土強靱化の推進
- ・交通・物流を担う人材確保・育成、労働環境の改善 など ※P4

4 重点的な取組の視点

3年間で集中的に取り組む施策の推進

インバウンド加速化

国内外からの観光客など交流人口を拡大する交通の実現 ※P5

- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック
 - ・民族共生象徴空間の開設
 - ・ラグビーワールドカップ2019日本大会
 - ・道内7空港の運営の一括民間委託
 - ・JR事業範囲の見直し など
- を見据えて取り組む

国際物流拡大

本道と国内外をつなぐ物流ネットワークの充実・強化 ※P6

シームレス交通

鉄道やバスなど公共交通の連携による利便性の高い移動の実現 ※P7

地域を支えるヒト・モノ輸送

地域のくらし・産業を支える輸送の確保 ※P8

5 施策推進

- ・多様な主体がそれぞれ役割分担をしながら、連携強化による施策の推進
- ・PDCAサイクルによる推進管理と情勢変化に対応した柔軟な見直し

3 施策の展開方向

(柱1)国内外をつなぐ

グローバル化に対応した交通・物流ネットワークの充実・強化

交通に関する施策

①地域と世界をつなぐ航空ネットワークの形成

- ・国際航空ネットワークの充実・強化
LCCを含めた路線誘致、チャーター便を含めた国際線による地方空港の利用促進など
- ・国内航空ネットワークの充実・強化
新規路線の誘致や休止路線の再開、運航多頻度化及び運賃の多様化・低廉化 など
- ・空港の機能強化と利便性向上
国際線施設の機能強化やCIQ体制整備、案内表示の多言語化 など

②北海道新幹線の整備促進と開業効果の拡大

- ・新函館北斗・札幌間の早期完成
国や経済界等と連携のもと、早期完成に向けた取組 など
- ・新幹線の高速化の実現
青函共用走行区間の高速走行の早期実現 など
- ・開業効果拡大に向けた北海道新幹線の利活用促進
通勤圏拡大などライフスタイルの変化を見据えた利活用促進
新幹線駅と空港や観光地を結ぶ交通ネットワークの充実強化 など

③クルーズ船の寄港促進

- ・クルーズ船の戦略的誘致
港湾管理者、国等と連携したクルーズ船の誘致 など
- ・受入体制の一層の充実
ふ頭や岸壁などの整備や寄港地からのアクセスの確保 など

④観光施策と連携した交流人口の拡大

- ・鉄道や空港などが連携した需要拡大と周遊の促進
観光地へのスムーズな移動の実現や発地・着地双方向の連携による需要創出 など
- ・海外からの観光関連産業への投資促進
観光関連産業への投資を呼び込み、交流人口のさらなる拡大を促進 など
- ・北海道ファン拡大につながる受入環境整備
SNSによる発信強化や多言語化、無料公衆無線LANなど受入環境の整備 など

物流に関する施策

①物流ネットワークの充実・強化

- ・港湾の国際機能強化
国際バルク戦略港湾などでの岸壁や荷役機械の整備促進 など
- ・内航輸送の強化
効率的な貨物輸送のための施設整備 など
- ・北極海航路の拠点化の実現
中継輸送やハブ港化に向けた検討や貨物輸送体制の構築 など
- ・航空貨物輸送の拡大
札幌国際エアカーゴターミナル(SIACT)の機能強化 など

②物流関連施設の集積促進

- ・流通施設等の立地促進
物流結節点への流通加工施設の集約 など
- ・生鮮品輸送に対応した物流施設の整備
港湾・空港などでの冷凍・冷蔵施設の保管容量の充実や
コールドチェーンに対応した物流施設の整備 など

③海外・道外との物流の拡大

- ・道産品の販路拡大
商談会やテスト輸出などによる継続的な販路拡大 など
- ・安定的な貨物の確保
加工組立型工業の集積や食関連産業の育成 など

3 施策の展開方向 (柱2)道内における移動の円滑化と輸送の効率化 事業者等の連携による移動円滑化・輸送効率化

交通に関する施策

① 持続可能な鉄道ネットワークの確立

- ・JR北海道の事業範囲の見直しへの対応
JR北海道の経営再生と鉄道網の持続的な維持に向けた取組 など
- ・道南いさりび鉄道の経営安定化
イベント列車や旅行商品開発を通じた収支改善 など

② 高規格幹線道路など道路交通ネットワークの整備促進

- ・高規格幹線道路網等の早期形成
ミッシングリンクの解消など高規格幹線道路網等の早期形成の促進 など
- ・高規格幹線道路の機能向上
インターチェンジの増設や付加車線の追加、4車線化などの機能強化の促進 など
- ・道路交通ネットワークの整備
空港や港湾への幹線道路や地域の生活を支える生活道路の整備 など

③ 交通機関相互の連携強化による利便性の高い移動の実現

- ・交通モード、事業者間の連携強化
交通事業者や関係団体、自治体など、関係者の連携体制の構築 など
- ・鉄道やバスなど交通機関の連携によるスムーズな移動の実現
駅や空港、港湾などの交通結節機能の強化やアクセス交通の整備 など
- ・適切な交通情報の提供
運行情報など公共交通に係る情報提供機能の充実 など

④ 新技術の活用と研究開発拠点の形成促進

- ・自動走行の実用化に向けた取組の推進
自動運転など技術革新による新たな移動サービスの実用化、実証試験の誘致 など
- ・北海道の特性を活かした新技術の研究開発の促進
AIやIoT等の先端技術を活用したデマンド公共交通システムの研究開発の促進 など
- ・公共交通への転換や次世代自動車の普及促進
次世代自動車の導入といった環境負荷の少ない交通の実現 など

⑤ バリアフリー化の推進

- ・バリアフリー推進による快適な移動環境の実現
旅客施設の段差の解消、視覚障がい者誘導ブロック設置の促進 など
- ・心のバリアフリー化の促進
高齢者や障がい者の社会参加の拡大に向けた理解やサポート など

物流に関する施策

① 輸送インフラの充実・強化

- ・高規格幹線道路網の早期形成等
国や関係機関と連携した高規格幹線道路網等の早期形成の促進 など
- ・空港・港湾等の交通拠点へのアクセス強化
空港や港湾、物流拠点などへの円滑な輸送の確保 など
- ・多様な輸送モードの機能強化
トラックや鉄道貨物の円滑な輸送の実現、フェリーやRORO船等の航路確保 など

② サプライチェーンの最適化

- ・IoT等の活用
インターネット受付による集貨・配送時の待機時間の解消 など
- ・パレット積みなどによる荷役の効率化、トラック稼働率の向上
トラックの荷待ち時間の削減やトラック稼働率の向上に向けた取組 など

③ 事業者間連携による効率化

- ・モーダルシフトの推進
トラック輸送から鉄道輸送への転換 など
- ・荷主間連携による共同物流網の構築、トラック・コンテナ輸送の効率化
中継輸送などの連携促進、ダブル連結トラックの導入 など

④ 貨客混載など交通機関と物流事業者の連携による効率化

- ・貨客混載など異業種間連携による輸送
鉄道・長距離バスや路線バス・タクシーとの貨客混載輸送 など

⑤ 産地から消費地までの輸送の効率化

- ・集出荷施設などのストックポイントへの集約化の促進等
生産・保管・加工・流通における一貫した取組 など

⑥ 新技術の活用と研究開発拠点の形成促進

- ・新技術の活用に向けた体制づくり
ドローンを活用した荷物運搬システムの開発支援に向けた体制づくり、IoT等を活用した海上交通の高度化 など

交通に関する施策

① まちづくりと連携した持続的な交通ネットワークの構築

- ・地域暮らしを守る最適な交通体系の構築
利用者のニーズや将来のまちづくりを見据えた最適な交通体系の実現 など
- ・公共交通利用の定着化
住民意識の醸成による利用促進や積極的な外出機会の創出による需要拡大 など

② 安定した地域交通の確保

- ・鉄道やバス路線の持続的な維持・確保
市町村や事業者などの連携による利用促進 など
- ・地域の実情に応じたきめ細かな交通サービスの展開
コミュニティバスや乗合タクシー、デマンド交通といった交通手段の確保 など
- ・新幹線の並行在来線への対応
札幌開業後の経営分離を見据えた公共交通の確保に向けた取組 など

③ 生活・医療を守る離島航路・航空路の維持・確保

- ・離島航路・航空路の確保
港湾、空港の施設整備や離島航路・航空路の維持に向けた利用促進 など

④ 安全で快適な都市内交通環境の整備

- ・都市内の円滑な交通ネットワークの整備
都市交通マスタープランの策定や放射道路、環状道路などの整備による都市内交通の円滑化 など
- ・安全な歩行者・自転車空間の整備
住区内などにおける車両走行速度の低減化や自転車走行環境の整備 など

物流に関する施策

① 過疎地域等での持続的な物流の確保

- ・宅配事業者や小売り事業者等との連携
運送事業者による共同配送の普及促進、小売り事業者等の配送網等の活用 など
- ・NPOや自治体と連携した輸送手段の確保
地域と一体となった効率的な輸送手段の確保 など

② 都市部における物流の効率化

- ・集配用トラックの駐車スペース・荷さばき場確保
地域の荷さばきルールの策定 など
- ・物流を考慮した建築物の整備等
トラックの進入を可能とする建築物の整備 など
- ・宅配便の再配達削減
宅配ロッカーによる受取など消費者の積極的参加の推進 など

③ 貨客混載など交通機関と物流事業者の連携による効率化

- ・貨客混載など異業種間連携による輸送
鉄道・長距離バスや路線バス・タクシーとの貨客混載輸送 など

交通・物流に関する施策

① 防災・減災対策の強化と国土強靱化の推進

・災害時の連携体制と情報提供機能の充実

台風や大雪、地震、火山噴火などの災害時に迅速に対応できる体制構築
交通障害時における代替交通も含めた適切な情報提供の推進 など

・災害に強い交通ネットワークの形成

道路・空港・港湾など交通施設の防災・減災対策
高規格幹線道路網の形成などによる代替性の確保 など

・空港・港湾機能の強化

被災地への人員や物資の輸送に必要な空港・港湾施設の改良整備 など

・安全で円滑な冬期交通の確保

雪崩や地吹雪などへの防雪対策や、空港や港湾、道路における除排雪の実施 など

・交通インフラの計画的な修繕・更新

老朽化した道路や空港、港湾などの計画的な更新や、予防保全型の維持管理による長寿命化の推進 など

・交通安全対策の推進

高齢者の交通事故防止や飲酒運転の根絶、安全運転機能を備えた自動車の普及促進 など

② 交通・物流を担う人材確保・育成、労働環境の改善

・バスやトラック運転手などの人材確保

運転免許の取得までを含めた雇用型訓練機関の設置や学校訪問、インターンシップの促進 など

・労働環境の改善

女性や若者等の多様な人材が働きやすい環境整備 など

・人材育成、イメージアップに向けた取組

定着促進に向けた経営者等を対象とする各種講習会の開催 など

・トラック輸送における契約書面化、適正運賃取得に向けた環境整備

付帯業務等のコストの適正反映に向けた関係者間での共通認識を形成、
物流の生産性向上への協力に向けた経済界や荷主に対する啓発 など

現状と課題・方向性

インバウンドなど来道者の大幅な増加
 “魅力度ランキングの連続1位を獲得”

北海道新幹線の開業

LCC等の新規就航・増便

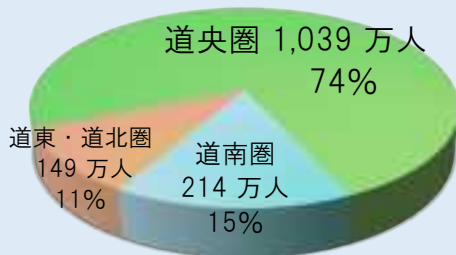
クルーズ船の寄港増加

7空港の一括民間委託

来道者の地域的な偏在

道央・道南圏に集中

道外からの直接乗り入れ人数(2016年度)



【出典】北海道総合政策部調べ

来道外国人観光客数 目標500万人



【出典】訪日外国人来道者数(実人員)の推移
 北海道インバウンド加速化プロジェクト(北海道観光局)

	2016	2020	2030
訪日外国人旅行者数	2,404万人	4,000万人	6,000万人

【出典】明日の日本を支える観光ビジョン(観光庁)

観光客をさらに「呼び込み」「周遊を増やす」

取組の考え方

交流人口の拡大により北海道に活力をもたらす交通ネットワークの形成

- 道内空港や港湾の路線拡充・機能強化により、インバウンド、アウトバウンドを拡大
- 道内外からの観光客が様々な交通手段を利用しスムーズに道内を周遊
- 北海道新幹線の札幌延伸により、大幅な移動時間の短縮が実現

重点的な取組の視点(例)

観光客のさらなる呼び込み

- ◆ **航空・新幹線・鉄道・クルーズ船の戦略的な取組などで交流を拡大**
- ◆ **国内外からのリピーターの獲得**

呼び込んだ観光客の周遊

- ◆ **全道各地につなぐ交通アクセスの充実**
- ◆ **豊かな観光資源の活用**

現状と課題・方向性

海外へのチャンス
“成長する海外市場”

道産食品など
海外需要の増加

国際線の
新規就航・増便

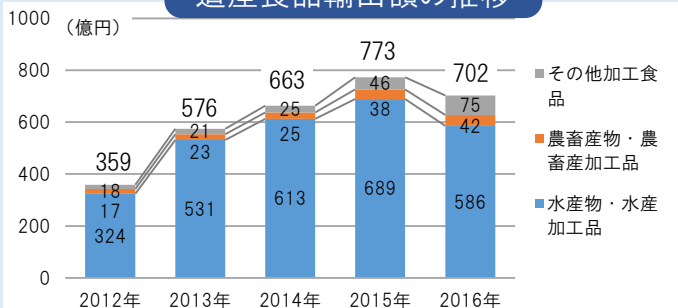
地理的優位性がある
北極海航路

道内経済の危機
“縮まっていく北海道”

人口減少による
生産・消費の縮小

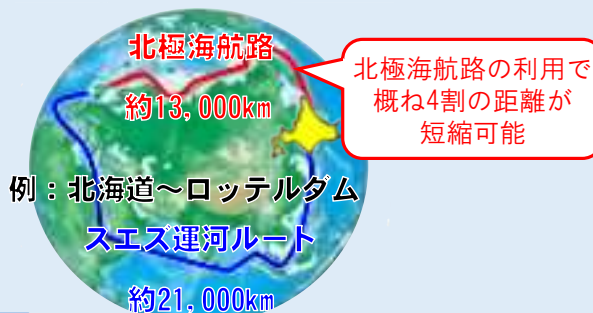
全国平均と比べて
低い製造業比率

道産食品輸出額の推移



【出典】北海道食の輸出拡大戦略推進状況報告書（平成29年4月 北海道）

北極海航路の状況



「海外成長力の取り込み」と「道内産業の活性化・高度化」

取組の考え方

本道の産業を支え、本道と国内外をつなぐ物流拠点の整備

- アジアやロシア、欧米などへの多方面への国際航空路・国際航路の開設によるダイレクト輸送
- 道内における力強い産業構造の構築による安定的な貨物の確保

重点的な取組の視点(例)

海外成長力の取り込み

- ◆ **国際航空路線の拡大**
- ◆ **新千歳空港を核とした国際航空貨物の拡大**
- ◆ **北極海航路の拠点化に向けた取組**
- ◆ **港湾の国際機能強化**

道内産業の活性化・高度化

- ◆ **ものづくり産業・食関連産業等の集積促進**
- ◆ **生鮮品輸出に対応した物流機能の強化**
- ◆ **商流・物流一体による道産食品の輸出拡大**

現状と課題・方向性

地域の公共交通の存亡危機
“利用者減少による路線縮小”

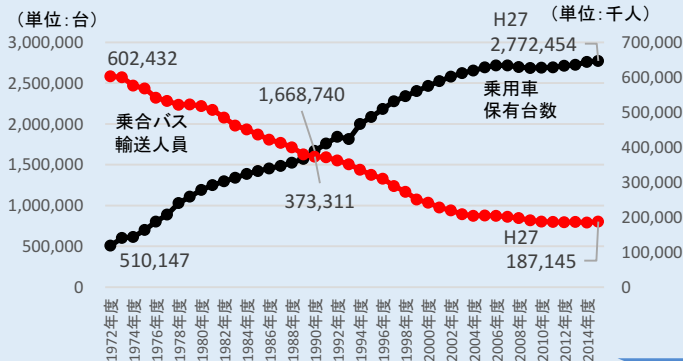
人口減少と高齢化・
モータリゼーションの進展

JR北海道の事業範囲
見直し・バス路線の縮小

頻発する自然災害
“交通障害への不安”

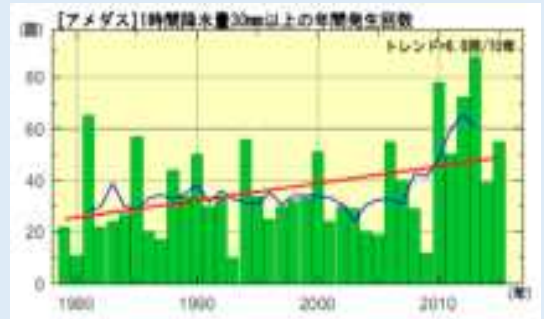
大規模な自然災害による
交通障害と情報伝達不足

道内における乗用車保有台数と乗合バス輸送人員の推移



【出典】数字で見る北海道運の運輸(北海道陸運協会)

1時間降水量30mm以上の年間発生回数



【出典】札幌気象台「北海道の気候変化(第2版)」 ※気象庁では30mm以上を激しい雨と定義

「利便性向上」と「利用促進」の相乗効果と「災害対応」

取組の考え方

交通モードが連携し、災害時にも安心できる公共交通を実現

- 安全で快適に利用できる、シームレスで利便性の高い交通環境
- まちづくりと一体となった取組を進め、地域と住民が公共交通を積極的に利用
- 代替交通手段の案内や災害時における交通に関する情報提供機能の充実

重点的な取組の視点(例)

利便性の向上

- ◆ 課題解決に向け地域の連携体制を構築
- ◆ 鉄道と地域交通等の連携によるシームレスな移動環境の整備

利用の促進

- ◆ マイカーから公共交通へのシフトを促す住民の意識改革

災害対応

- ◆ 代替交通の確保などに向けた災害時の連携や情報発信の強化
- ◆ 冬季の駅や空港などの機能強化

現状と課題・方向性

ヒトの移動・モノの輸送の危機

“事業者の努力だけでは存続が困難”

過疎地における脆弱な公共交通

人口減少によるドライバー不足

過疎化の進行による輸送効率の低下

宅配便個数の増加

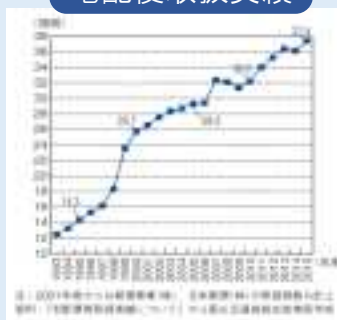
農水産品等の季節変動・片荷輸送

道内市町村の人口推移



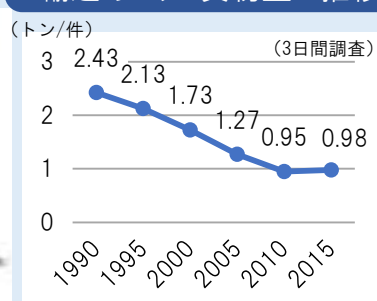
【出典】北海道総合計画(平成28年3月 北海道)

宅配便取扱実績



【出典】交通政策白書(平成29年6月 国土交通省)

1輸送あたりの貨物量の推移



【出典】国土交通省「全国貨物純流動調査(物流センサス)」より国土交通省物流政策課作成 ※2015年は速報値

事業者・地域・利用者・荷主などの「連携」による「最適化」

取組の考え方

地域経済を支える安定的かつ持続可能な輸送ネットワークの確保を実現

- 安定したヒト・モノ輸送の確保により、道民の安全・安心な生活を確保
- 生産地と連携した物流体制の構築により、道産品の安定供給や産地の収益力を強化
- 自動走行など新技術を活用したヒト・モノ輸送体制を構築

重点的な取組の視点(例)

ヒトの移動の最適化

- ◆ **交通事業者の連携による生活交通ネットワークの構築**

モノの輸送の効率化

- ◆ **輸送事業者の連携による幹線輸送の共同輸送の促進**
- ◆ **産地から消費地までの輸送の効率化**
- ◆ **荷主と連携した生産性向上**

ヒト・モノ輸送の連携・効率化

- ◆ **交通事業者・輸送事業者の連携による貨客混載のさらなる促進**
- ◆ **次世代を担う輸送人材の確保・育成**

ヒト・モノ輸送の技術革新

- ◆ **自動走行など技術革新の進展**